

放課後等デイサービス自己評価結果と保護者へのアンケート結果を受け 放課後等デイサービス元気の学校の今後の取り組み

保護者向けアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

- ・保護者様にご記入頂いた内容を集計して公表させていただきます。
- ・全職員が自己評価表を作成し全員でまとめた内容です。

令和3年度の評価結果を受け今後の課題と方針。

1.障がいの無い子供との活動する機会が無い

昨年も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防の為に外部との関わりや、校外学習は控え各イベントも中々出来ず、他の施設や障がいの無い子供との交流する機会がとれず子供達には、我慢をさせなくてはいけない事が多かったと思います。そんな中、2年振りの芸術祭スローリーライブが開催され、子供達も関係者も久々に達成感ある時間となりました。

2.非常時の対応について

ご利用のしおりにて非常災害時の対応や避難場所、また感染症についてなどの周知、説明等は引き続き行っていきます。BCP計画については現在作成中、咄嗟の時にも慌てず全員が対応できるようなBCP計画に仕上げていきます。災害時避難訓練は年2回実施していきます。身体拘束廃止、虐待防止についても委員会を設置し、マニュアルにそっての研修や予防についての検討を繰り返し、実践していきます。

また、年2回の避難訓練は引き続き行っていきます。

3. 今期の支援方針

昨年度2月より作業療法士を新たに配置しています。今期は専門的な視点をベースに下記プログラムをよりスムーズにまた、結果へと促せるように支援をしていきます。手先の動きが細かくしっかりと作業出来る事により、個々の強みを増やし、社会へ就労へと選択肢が増えていけるように児童発達管理責任者を中心に保育士、児童指導員と連携し支援をしていきます。

【SST 型プログラム】

社会参加を目指し 本人支援 5 領域と共通性を持ちながら学童期の発達支援の重要な「自己肯定感」「達成感」「仲間形成」「孤立の防止」を盛り込んだ支援をしていきます。

運動プログラム 粗大運動による体幹や感覚への刺激により脳の発達を促す。

- ・遊び ゲーム 体幹トレーニング ストレッチ
- ・健康

認知プログラム 社会参加の為の認知機能面の記憶力、処理速度など多方面でのアプローチを行う

- ・ 学習支援

地域交流・ソーシャルスキルプログラム 集団の中でのルールの理解と把握。自己判断と応用 気持ちの汲み取りなどコミュニケーション面のアプローチ

- ・ コミュニケーション 言語
- ・ 地域との関わり

生活動作プログラム 調理 身辺整理

- ・調理を通して食べる大切さ 洗う 切る 炒める 盛り付ける等の動作を学ぶ
- ・洋服の着替え 片付け 整理整頓など

特定非営利活動法人なのはな徳島

放課後等デイサービス元気の学校

管理者 宿里 尚子